

ならじょ
奈良女子大学通信

today

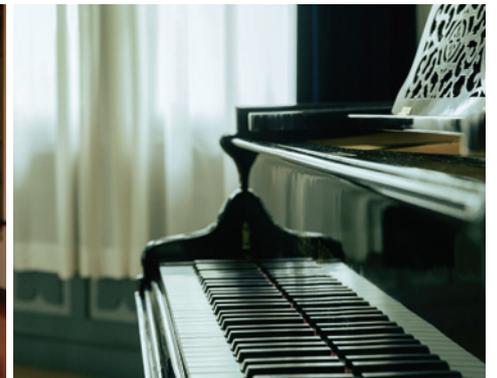
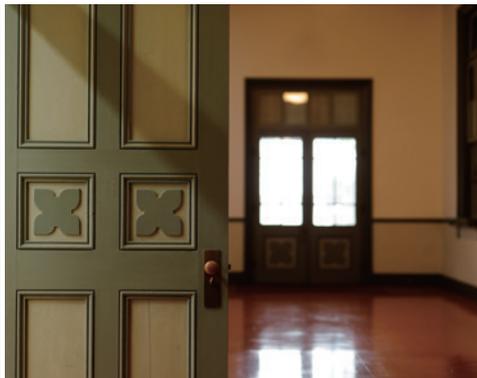
vol.
45
January
2026

高田将志学長と久保博子教授へのインタビュー

特集

「未来へつなぐ、奈良女の記念館」

—クラウドファンディングへの御礼とこれから—



未来へつなぐ、奈良女の記念館

—クラウドファンディングへの御礼とこれから—



高田将志学長

奈良女子大学のシンボルとして長年親しまれてきた記念館。その改修に向けて実施したクラウドファンディングには、OGや企業、地域の方々から予想を大きく上回るご支援が寄せられました。今回の企画では、高田将志学長とプロジェクトリーダーの久保博子教授に、プロジェクトに込めた思いや記念館のエピソード、そして奈良女のこれからの100年への期待について語っていただきました。

(以下、敬称略)

Q クラウドファンディングの感想をお聞かせください。

高田 予想以上に多くのご寄附をいただけただけに加えて、多くの方と繋がれたことが大きかったと感じています。寄附してくださった方からの温かいコメントや、こちらからホームページで現在の様子を発信する取り組みを通じて、寄附を媒介とした大学とOG・地域の方々とのコミュニケーションの場が生まれました。

久保 私は奈良女のOGでもあり、記念館には強い思い入れがあったので、実際どのくらいご支援が集まるのかドキドキしていました。結果として、企業様やOG、地域の方など幅広い方々からご寄附をいただき、「奈良女っていいね」と期待を寄せてくださっている方がこんなにもいらっしゃるのだと実感しました。

Q 目標金額を大きく上回った理由は、どのような点にあると思われますか。

高田 何よりも、寄附してくださった方々の

「奈良女を応援したい」という思いの強さが根底にあると思います。加えて、クラウドファンディングの運営を担当してくれた職員の方も大きいですね。寄附者のコメントに返答するだけでなく、適切なタイミングで情報を発信するなど、一つひとつのことに丁寧に取り組んでくれました。

Q お二人も、この奈良女で長年過ごしてこられました。記念館や奈良女にまつわる思い出を教えてください。

高田 記念館は場所も見え目も分かりやすく、イベント会場としても使いやすい建物だと感じています。ただ、冬はとても寒いですね(笑)

久保 記念館で講演会がある冬の日には、朝6時に来て暖房を入れたこともありました(笑)

高田 実際に使い続けていると、風情があつて印象に残りやすいという良さも見えます。奈良女に着任した当初は、キャンパスがコンパクトで、教職員や学生の距離が近い大学だと感じました。実際に過ごす中で、それが全学の方々との繋がりがやすい

され、積極的に使っていただけける場にしていきたいです。

久保 古いものを使い続けていくという姿勢は、奈良という土地柄とも関係しているように思います。奈良のお寺では、百年どころではない建物が今も現役で使われていますよね。古いものを大切にすると、そつと保存しておくのではなく、現役で使い続けて次の世代へ繋いでいくことなのだと思います。

Q 在学生のみなさんにお伝えしたいことはありますか。

高田 他大学にはなかなかない良い環境の

という良さにつながっているのだと分かってきました。

久保 私が入学した頃、記念館の端の部屋には会計課が入っていて、そこへ学費を払いに行っていました。老朽化が進み立ち入りができなくなりました。その後、音楽部の演奏会前の練習場所として記念館を貸していただけのことになり、危険な部分に注意しながら使っていました。

当時は講堂もなかったため、入学式や卒業式は奈良市の文化会館で行っていました。それだけに、平成の改修で記念館がきれいになり、また使えるようになったときは本当にうれしかったです。

Q 平成の改修後、記念館は積極的にイベントで活用されてきました。特に印象に残っている活用の思い出はありますか。

久保 音楽会の思い出はたくさんあります。有名な方に来ていただき、音楽部のOGも一緒に歌わせていただいたこともありました。特に、女性作曲家に焦点を当てた、講演会と演奏会がセットになった企画はとても印象に残っています。

高田 私が印象に残っているのは、「百年ピアノ」を修復された場輝佳先生の退職記念音楽会が記念館で開かれたことです。

久保 そのとき私がピアノを弾かせていただきました。倉庫で見つけたピアノは解体された状態で眠っていましたが、組み立ててみたら音が鳴って感動しました。「飾っておこうか」という話もありましたが、「弾

中で、ここでの学びや経験が、後になって「誰にでもできるものではなかった」と実感できるものになってほしいと思います。そのうえで、その恩をどのような形であれ、社会や周りの人々に返してほしいですね。

久保 外部の方とお話すると、「すごく恵まれた環境ですね」とよく言われます。女子大学なので、学生が自由にリーダーシップを発揮して活動しているのが当たり前のように見えますが、外に出てみると、そうした環境は決して多くありません。奈良女で育まれたその力を、社会の様々な場面で発揮してほしいと思います。

また、背筋が伸びるような先輩方がたくさんいらつしゃるので、そうした先輩たちの歩みや活躍にも、ぜひ目を向けて学んでほしいですね。

Q 最後に、100年後の記念館と奈良女の姿について、どのような未来を思い描いておられますか。

高田 次の100年も、多くの方に使い続けていただきたいですね。そして「そろそろ改修をして、さらに大切にしていきたい」と語り継がれている…そんな姿であつてほしいと思います。

久保 記念館も含めて、「学び続ける雰囲気」を持った大学として、100年後もここにあり続けてほしいです。そして、生まれや背景にかかわらず、公平に学べる場所であつてほしいと願っています。女子大学の意義は、どんな人でも学べて、様々な場面での不公平や差別をできる限り和らげて



プロジェクトリーダー
久保博子教授

けるようにしたい」となり、的場輝佳先生のポケットマネーで修理してくださったんです。古いものが実際に弾ける状態で残っているというのが、とても良いですね。

Q 「実際に使う」ということは、クラウドファンディングのページでも繰り返し語られていますが、今後の活用について教えてください。

高田 飾っておくだけではなく、実際に使うというのは非常に大事なことでと思っています。記念館は重要文化財なので様々な制約はありますが、その中でも皆さんに愛

いけることにあると思います。女性ばかりの環境だからこそ、互いを尊重しながらフラットな関係で過ごせる面があります。そうした良さは、これからも大切にしていきたいですし、そのシンボルがきつと記念館なのだと思います。

高田 女子大学の役割は、今後も簡単には失われたいのではないかと考えています。大学院への進学率はまだ男女ともに高いとは言えず、その中で男女差も残っています。社会全体の課題と高等教育機関の課題はおよそどこかで交差しており、変わる部分もあれば、なかなか変わらない部分もあります。だからこそ、女子大学が担うべき役割は、これからも重要であり続けるのだと思っています。



「奈良女のこれから」を語り合うひととき 昔話にも花が咲く

ななびの思い出

懐かしい!と思う方も、そうだったんだ!と思う方も、あの日の奈良女にタイムスリップ

本学OGの先生から一部写真をご提供いただきました。

奈良女子高等師範学校時代



まだ木造



遠方に若草山を望む学校からの風景

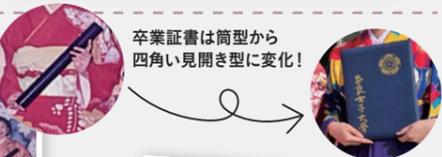
1990年頃



壁の色が今と違う



卒業式、講堂の緞帳前で



卒業証書は筒型から四角い見開き型に変化!



院生室での一コマ



できたばかりの四阿(あずまや)



「滝廉太郎物語 ある愛の譜」のロケ地に!「東京音楽学校」に变身

2005年頃



耐震工事で壁の塗り替えを経て今のN棟に



ランチタイムコンサート



企業の合同説明会が記念館で!



今は無き合格発表の張り出し

2015年頃



ちょっと今は雰囲気違う学食



量り売り時代の夕食ビュッフェ。今はパックに定価で詰め込み式に



学食の今は無きショーケース

学生記者の声



インタビューでは特に、目標金額が集まっただけでなく、学内/学外の方と繋がるきっかけになったというお話が印象的でした。このクラウドファンディングを通して、様々な方の記念館と奈良女への思いが可視化されたのだと感じます。応援メッセージでは、皆様の思い出等を楽しみ拝読するとともに、幅広い方々の奈良女へのお心に触れることができ、胸が熱くなりました。これから100年先も記念館が、のびのびとつつ熱心な学び舎のシンボルでありますよう、学生の私たちも先生方と共に精進してまいります。

江本 菜穂(えもと まほ) 大学院 人間文化総合科学研究科 博士前期課程 生活文化学専攻
出身校: 徳島県立脇町高等学校(徳島県)

25年前の大学パンフレット

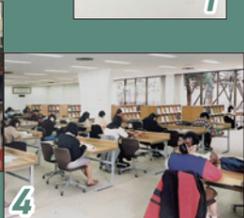
- 1 表紙は講堂の緞帳の絵 (作: 小倉遊亀「爛漫」)
- 2 キャンパスの空撮。まだ大学院E棟がない
- 3 「コンピュータによる文献検索」機械に時代を感じます
- 4 当時の附属図書館1階。今はみんなで話しながらワークできる空間に変わりました



2



3



4



1

学部入学式も卒業式も記念館でした。音楽部の練習場所も記念館の2階でした。恩師の退官記念公演もここ。博士の学位授与式もここで嬉しかったです。成長を見守り続けてくれた記念館です。(H.A)

今は、奈良を離れていますが、大学に立ち寄れば、そこには記念館がいつもある。そんな光景が今後も末永く続くことを願います。それにしても、自分自身が大学生だった頃、あの記念館で文化祭の催しの1つとして、ロッカース(陣内孝則さんがメンバーの1人だったロックバンド)がLIVEをやったなんて、今から考えると信じられないぐらいですね。(M)

学部が再編されて変わっても、学生寮が新しくなっても、いつ訪れても「ああ、懐かしい学舎だ」と思える風景をのこしてほしいです。(T.K)

今年的一般公開ではじめて訪れ、この建物を守り続けてこられた多くの方々への思いに触れ、感動しました。思い出とともにあり続けてきた記念館が、このたびの改修を通して、これから先ももっと活用されていきますようお願いしております。(Y)

記念館の存在は、これから入学される未来の学生さんと、現在学ばれている方と、かつて在学していた私たちとを繋いでくれる象徴的な宝物です。永く文化財建造物として保存されることを願っております。(Y)

記念館がこれからもずっと、奈良女生の青春を見守り続けてくれますように。(M)

祖母と自分自身が卒業生です。記念館があってこそ奈良女! 病床の祖母に自分が卒業した時の記念館の写真を見せたところ、記念館は変わらないけど並木がえらいのびて〜と驚いていたことは思い出のエピソードです。過去と未来をつなぐ存在がこれからもありますよう、応援しております!(T.T)

大連育ちの叔母が女子大の記念館を見て、「女学校のと同じデザインだわ」と感動していたことを思い出します。いつまでもこの貴重な建物が守られることをお祈りしています。(S)

クラウドファンディング 応援 Message

同じ明治期に奈良で生まれた隣人(企業)として心より応援申し上げます。これからも末長いご活躍を祈念いたします。(K)

在校生です。末永く後輩たちがあの記念館のある奈良女で過ごせますように!(S)

妻が学生時代を過ごした大切な場所です。卒業生の皆さまにとっても、多くの思い出とともに心に残っているであろうこの記念館が、美しい姿のまま、これからも残り続けてくれることを願っております。学生時代のかけがえのない時間を思い起こさせてくれる場所があるというのは、本当に大切なことだと思います。これからの学生の皆さまにとっても、この記念館がそんな特別な場所となっていくように。心から応援申し上げます。(Y)

親子2代にわたり奈良女生。大切な青春時間を過ごさせていただきました。後世に、大好きな奈良女の記念館が引き継がれますように。応援しています。(T.U)

子供が志望するようになって何度か記念館も入らせていただきました。念願がなつて在校生となりました。奈良という古の地に、絵本の世界のような洋館が大学内にあり、鹿も自由に闊歩しているという姿に、何十年経っても、この場所で出会えますように。(L)

主人の祖母も奈良女高師100年超えでお世話になっています。次なる100年に向けて。(T)

お茶の水女子大学の卒業生です。姉妹校の未来に微力ながら応援したいと思います。(N)

奈良女は性別に由来する遠慮や抑制とは無縁の、学びと成長の場でした。発言し、リーダーシップを発揮し、自らの可能性を信じるという積み重ねが、自信と実行力を育ててくれ、社会に出た私を守ってくれました。性別に左右されずに力を伸ばし合う「平等の土壌」が確かに存在しています。女子大は、これからの社会に必要な、力強い教育の場だと信じています。がんばれ奈良女!!(A)

大学院へ
ようこそ!

地理学コース



文学部 人文社会科学
地理学コース
准教授

宇津川 喬子

うつがわ たかこ

先生の研究内容をおしえてください

川から海浜までの一帯をフィールドに、自然地理学と堆積学の視点から研究しています。川や海浜の砂や礫などの堆積物が、どのように生産され、運搬され、堆積していくのかという過程を調べています。

これは川から海にかけて地形の発達や、川や海で起こる自然災害のメカニズムを理解することにつながる研究です。研究室にたくさん保管してあるのはこれまで採取した礫や砂たちで、地点や川ごとに分けてあります。

ひとくちに「礫」といっても、実にいろいろです。一般的に、山の岩石が侵食されて、川へと流れ込み、礫や砂というかたちで堆積しますが、最初からその大きさだったわけではありません。もともとはもっと大きな岩石が、運搬される過程で少しずつ小さくなっていきます。小さくなるということは、どこかに削られた部分があるということです。その削られた部分は、また別の礫や砂となって、さらにどこかへ運ばれているはずで、そこで、様々なサイズの礫や砂を分析し、どの種類がどのくらいの割合で含まれているのか、どのような形をしているのかなどを調べることで、その川の中でどのような生産・運搬過程が起こってきたのかを知ることが出来ます。例えば礫や砂は、川で中州をつくることもあれば、砂浜をつくることもあれば、礫がゴロゴロした海岸をつくることもあります。そうした地形の違いは、礫や砂が壊れながら運ばれ、堆積していく過程が関わっています。

私は、その過程を明らかにする研究を行っています。

基礎的な研究ですが、データを丁寧に積み重ねていくことで自分ごとでも大事ですし、地形の発達との関わりや、昔の地形を知ることにもつながります。

ホームページの教員紹介の先生のコメントに、「砂や礫の「声」を聞いています」と書かれてありましたが、これはどういう意味なのでしょう。

礫や砂は、そのひと粒ひと粒に個性があります。私は川や海にいくと、礫や砂に「君はどこから来たんだい?」「君は何があったんだい?」と問いかけます。大きさや形は、その礫たちがそこにたどり着くまでの過程を反映しているのです。そうした情報を「声」と表現しています。人には聞き取り調査が出来ますが、礫は話してくれません。だからこそ、どれだけ多くの情報を引き出せるかは、研究者にかかっています。私は礫から「聞き取っている」ともりているので、「声を聞いている」という表現をしています。

この研究をしようと思ったきっかけは何ですか。

学部3年生のときのフィールドワークの授業だと思っています。5泊6日で地形や地層の観察を行い、私は海岸砂丘を担当しました。その後、卒業論文でもその海岸砂丘を調べ続け、砂丘の地形発達や内部構造などを考えることになりました。砂丘を理解するためには海岸の砂を知

てよかったと強く感じている点の一つです。

先生の今後の目標を教えてください。

長くフィールドワークに出続けられる体づくりをすることです。崖を上ったり、川を渡ったりと体力を必要とする場面も多いため、心身ともに健康でいられるよう努めたいと思います。

先生は今年から本学に赴任されましたが、奈良女子大学の特徴はどのような点にあると感じておられますか。

こちらに来たときにまず「落ち着いて勉強できる場所だな」と感じました。

特に印象的だったのは、時間の流れがとても緩やかに感じられることです。それは今研究室で過ごしていても思います。鹿の存在も大きいですね。パソコンで作業をしていて、一息つこうと窓の外を見ると鹿がいる。その環境は私にとって本当にうれしいものです(笑) それから、学生さんたちが生き生きしているように見えます。一人ひとりが、自分のお気に入りの場所をキャンパスのどこかに持っているような雰囲気があります。中庭ではご飯を食べている人や本を広げている人がいますし、図書館も居心地がよく、自分の「居場所」をつくりやすい環境だと思います。

学ぶことだけでなく、サークルや部活動など、さまざまな活動に取り組んでいる学生さんの様子が伝わってくるので、生き生きとして見えるのかもしれないですね。

学生へのメッセージをお願いします。

学生である今だからその「感性」と「気



川沿いに露出する岩石を調査中の宇津川先生

らなければならず、海岸の砂を理解するには川の砂を知らなければならぬと、調べていくうちに、関心がだんだんと運搬経路をさかのぼっていき、最終的には礫にまでたどり着きました。ですので、修士課程に進学したときには、研究の中心はすっかり川に移っていました。

研究のやりがいや楽しいと感じることを教えてください。

礫や砂に向き合っているときは、いつも楽しいです。今こうして礫を眺めているときもそうですが、きちんと目的に沿って試料を収集したり、分析したりする一連の作業は、すべて楽しいと感じています。

また、礫の研究は歴史が古く、19世紀末の論文を読んだこともありませう。そうした昔の研究者がどのように考えていたのかを、本や論文を通してたどるのも楽しいですね。当時の研究者が、考えながらも技術的な制約のために実際には検証

できなかったことを、技術が発展した現代の方法で改めて研究できる。その面白さは特に大学院時代に知りました。

研究を進める中で、特に大変なことはありませんか。

私の研究は、現場に行かなければ何も始まりません。そのため、フィールドに行けない時期はとても大変です。コロナ禍もそうですし、海外調査では現地の情勢悪化によって渡航規制がかかり、調査に行けなくなることもあります。また、そもそも適切な調査地が見つからないという難しさもあります。

先生が大学院に進学してよかったと思うことを教えてください。

もともと卒業論文では海岸砂丘とは別のテーマを考えており、どちらかを選ぶべきか悩んでいました。そのとき、指導教員から「もう一方は修士課程でやればいいのか」と言われたことがきっかけで、大学院進学を意識するようになりました。学んだり分析したりすることは好きだったので、学部4年で終わってしまうのはもったいないという気持ちもありました。

学部時代は、カリキュラムの制約やGPAへの意識もあって、学ぶこと自体は楽しい一方で、どこか窮屈さも感じていました。それに対して大学院では、時間割に余裕ができ、自分の好きなように学べるようになり、空いている時間に論文を読んで調べものしたり、図書館の地下書庫にこもったりするなど、「自由に勉強したいんだ」と思えたのは、大学院に入ってからでした。進学し

学生記者の声



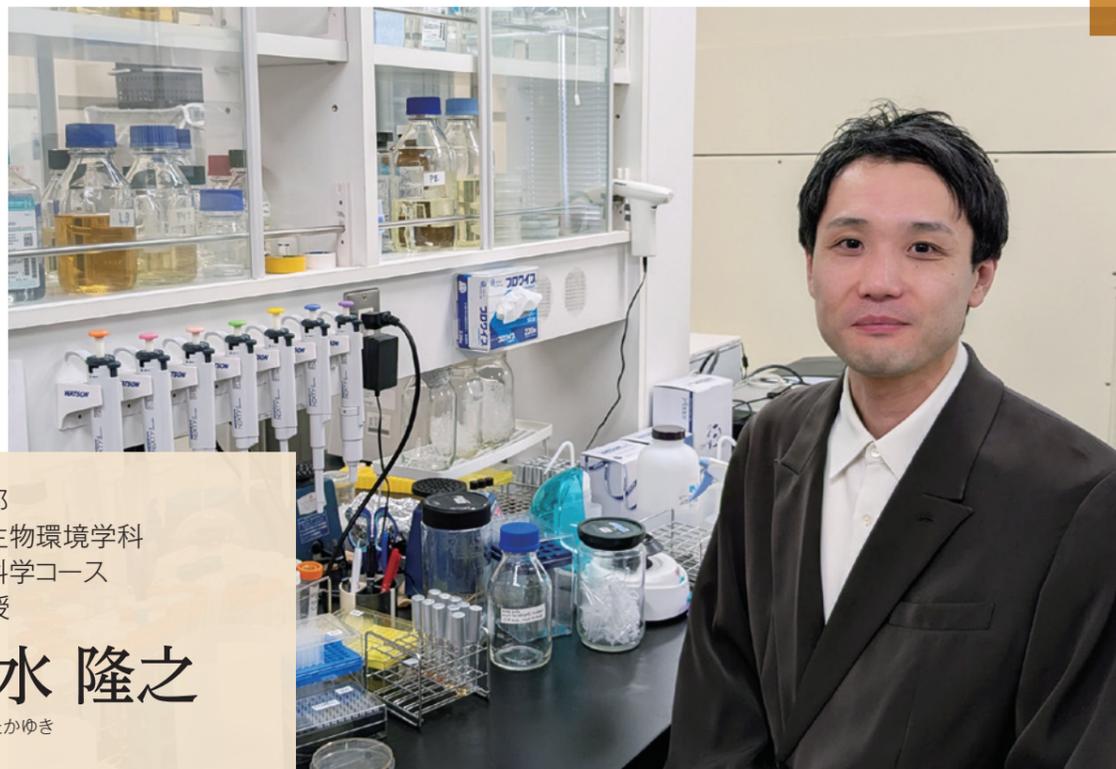
佐藤 星空(さとう せいら)

文学部人文社会科学 2年生 出身校:山梨県立甲府第一高等学校(山梨県)

先生の研究室には礫が入ったケースがたくさんあり、インタビュー中も実物を見せながら丁寧に説明してくださいました。礫の大きさや形は本当に様々で、美しい礫もあることを知り驚きました。紙面の都合で載せることができませんでしたが、国内外の特徴的な川や地形をたくさん紹介してくださいました。こうした機会を通じて得られた発見や興味を大切にしていきたいです。

大学院へ
ようこそ!

生物科学コース



理学部
化学生物環境学科
生物科学コース
准教授

清水 隆之

しみず たかゆき

清水先生の専門である「超硫黄分子」について、専門外の読者にも分かりやすくご紹介いただけますか。

私の研究テーマは、硫黄代謝、特に「超硫黄分子(超イオウぶんし)」の生物学的検知機構を明らかにすることです。硫黄水素というと温泉などで臭く毒物のイメージが強いかもしれませんが、実は体内でつくられ、生命活動をコントロールする重要な分子だと分かってきました。

さらに、実際に生理活動を守っているのは硫黄水素そのものではなく、硫黄原子(S)が複数連なったポリスルフィド化合物、すなわち超硫黄分子だということが明らかになりました。2014年頃に超硫黄分子を検出する方法が確立され、人間の体内に豊富にあることも分かり、注目が集まっています。

私の研究では、この超硫黄分子が生物にとってどのように感知され、情報伝達に使われているのかという「検知の仕組み」を解き明かそうとしています。外からの刺激に敏感に反応する光合成細菌などのバクテリアをモデルに、生命科学に共通する普遍的な仕組みに迫っています。

「超硫黄分子」というテーマに、先生が興味を持たれたきっかけは何でしょうか。

もともとは光合成細菌の酸素応答機構を研究していました。光合成細菌が周囲の環境をどのように感じ取り、代謝を切り替えているのかが興味があったんです。

そんな中で、師事していた先生から「生物学全体に普遍的な意味を持つシグネチャな研究

研究を進めるうえで、最も大変だったことと、それをどう乗り越えたかを教えてください。

博士課程のとき、目的の遺伝子を見つけないに非常に時間がかかり、心が折れそうになったことがありました。そのとき意識したのは、「一人で抱え込まず、多くの人に相談することです。指導教員だけでなく、学会で出会った仲間や他の先生方など、さまざまな人に話を聞いてもらうことで、新しい実験のアイデアや試行錯誤の道筋が見えてきました。この経験からも、「一つのコミュニティにとどまらない」ことの大切さを実感しました。

これからの時代において、大学院で専門分野を深く学ぶ意義はどこにあると思われますか。

大学院で深く学ぶことの一番の意義は、「個性を表すキーワード」を持つことだと考えています。ある分野について「この話ならこの人に聞こう」と思ってもらえるスペシャリストになることで、自分だけの強みをつくることができます。

特定の分野を深く掘り下げるからこそ、その中で多様性や他分野とのつながりが見えるようになり、新しい発想や共同研究の広がり生まれます。

最後に、大学院進学や研究の道を考えている方へメッセージをお願いします。

大学院や博士課程への進学を、あまり重く考えすぎないでほしいと思います。修士の2年間は、純粋に研究を楽しめる「やりたいたいことができる最後の期間」と捉えてください。

に取り組みべきだ」という話を聞き、強く共感しました。ちょうど超硫黄分子が注目され始め、私が扱っていた光合成細菌が硫黄水素を利用することもあって、「硫黄水素にどう応答しているのか」を調べれば、生物学的に普遍的な仕組みが見えるのではないかと考え、現在のテーマにたどり着きました。

研究者としてのキャリアについてはいかがですか。

最初から研究者一筋だったわけではなく、周囲の期待に応えながら「これなら続けていけそうだ」と思えた道を選んできた結果、現在の研究者という立場に至りました。自分でベースやテーマを管理できる研究という働き方が、自分には一番しっくりきています。

大学院での学びについて伺います。清水先生が所属する大学院のコースでは、どのような専門知識やスキルを学ぶことができますか。また、コースならではの特色は何でしょうか。

私の研究室では、超硫黄分子を切り口に、生命科学や生化学の最先端の知識を深く学びます。

もう一つの特色が、「一つのコミュニティにとどまらない」ことを大事にして

悩んでいるだけで時間を使うのではなく、「まずやってみてから考える」姿勢で一歩踏み出してほしいですね。奈良女子大学には学生を支える制度もありますので、そうした仕組みも活用しながら、自分なりの研究生活をつくってもらえたらと思います。

大学院での経験は、社会に出てからは得にくい貴重な財産です。深く学び、大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

いる点です。自分の研究室や大学の中だけに閉じこめるのではなく、学会や研究会に積極的に参加し、多様な人と交流することを強く勧めています。他者との対話を通じて、自分の立ち位置や研究者としての振る舞いを学び、将来につながるネットワークを築いてほしいと考えています。

学部での研究と比べ、大学院だからこそ得られる「より高度な学び」や「研究に集中できる環境」の魅力はどのあたりにありますか。

大学院進学最大の意義は、研究の醍醐味をじっくり味わえることです。学部の研究はどうしても「触り」で終わりがちですが、大学院では自分のテーマに腰を据えて取り組むことができます。

修士2年間は、人生80〜90年のスパンで見れば「誤差」です。この限られた時間に集中的に研究した経験は、問題解決能力や専門性としてその後の人生を支えてくれます。



清水先生の研究機器(タンパク質の半自動精製装置)

奈良女子大学で研究を進めるうえで、良いと感じる点はどこなところですか。

奈良女子大学の研究室は少人数教育で、学生一人ひとりに目が届きやすい環境だと感じています。

また、指導方針として先ほどの「一つのコミュニティにとどまらない」ことを徹底しており、学会発表など外に出ていく機会を意識的につくっています。学生が悩んだ時には、研究の相談だけでなく雑談も含めて気軽に話せるような、オープンな研究室づくりを心がけています。

「超硫黄分子」を研究することの面白さや、先生が研究の醍醐味を感じる瞬間を教えてください。

研究の面白さは、「世界で自分だけが今見ている現象」を発見した瞬間に尽きます。誰も知らない生命現象の一端を、自分が初めて目の当たりにしたとき、大きな喜びを感じます。

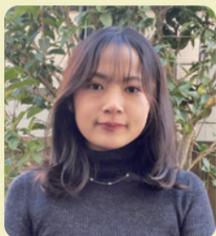
先生の研究は、社会にどのように役立つと考えていますか。

一つは基礎科学として、超硫黄分子の検知機構を明らかにし、生命現象の普遍的な仕組みを解き明かすことです。基礎研究の蓄積が、将来の医療や環境分野の発展の土台になります。

もう一つは社会実装の可能性です。たとえば、将来的な硫黄資源の不足に備え、廃水などから発生する硫化水素をバクテリアの力で有用な硫黄に変換する技術開発などに応用できると考えています。



学生記者の声



堀 琴実(ほり ことみ)

工学部 工学科 3年生 出身校: 私立奈良学園登美ヶ丘高等学校(奈良県)

取材を通じて、大学院進学に対するイメージが大きく変わりました。特に印象的だったのは、院での学びが単なるプロフェッショナルになるためだけでなく、「その専門を深く掘り下げるからこそ、多様な人とのつながりや新しい共創が生まれる」というお話です。また、院進学を「重く考えすぎず、チャレンジして欲しい」とのお言葉に、気負いせずチャレンジすることの大切さを感じました。この経験を力に、視野を広げたいと思います。

さあ、

未来を切り開こう！



奈良女で踏み出す、ひとりひとりの小さな一歩

「就職活動」というひとつのテーマに向き合い、様々な立場の方にお話を伺う中で、共通して見えてきたものがあります。それは、「自分なりに考え、自分なりの道を選ぶ」という姿勢です。就活の限られた時間を通して、自分だけの答えや幸せを見つけたい、そして見つけてほしい—そう願う気持ちは誰にとっても同じことでした。この特集では、自分らしさを大切にしながら、奈良女子大学で未来への一歩を踏み出す学生の姿を等身大でお伝えします。



OG・若狭さん
若狭 就活の軸は、幅広い事業を展開

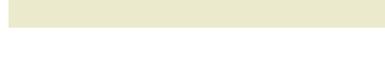
三好 本日はお忙しい中お時間いただきありがとうございます。まず初めに、自己紹介をお願いします。
若狭 はい。若狭と申します。2024年3月に理学部数物科で卒業しました。現在は株式会社クボタで、生産管理として勤務しております。
三好 若狭さんの「就活の軸」は何でしたか。
若狭 はい、もちろんです。就職係に通いまくって、とてもお世話になりました(笑)

三好 本日はお忙しい中お時間いただきありがとうございます。まず初めに、自己紹介をお願いします。
若狭 はい。若狭と申します。2024年3月に理学部数物科で卒業しました。現在は株式会社クボタで、生産管理として勤務しております。
三好 若狭さんの「就活の軸」は何でしたか。
若狭 はい、もちろんです。就職係に通いまくって、とてもお世話になりました(笑)

三好 では最後に、現在奈良女で就活中の学生に対してエールをお願いします。
若狭 「就職」は人生の中で大きな選択だと思います。これまで自分と向き合う機会がほとんどなかったのに、就活が始まると急に「しなければならぬ」という義務感に駆られ、しんどくなることもありますよね。でも、頑張れば頑張るほど得られるものは多いと思います。一人で抱え込みすぎず、家族や就職係など周囲を頼りながら、自分のペースを進めていってほしいです。
三好 ありがとうございます！

キャリアサポートルーム

就職活動に役立つ書籍や先輩たちの就活体験記など様々な就活関連の情報が手に入る資料室&ワークスペースです。本学学生は出入り自由ですので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。
〈開室時間〉平日 8時30分～18時
*ただし、休業期間は8時30分～17時15分(奈良女子大学HPより引用)
音楽が流れるリラックスした雰囲気の中、就活に関する作業を行えます！ここで新たな就活仲間とも出会えるかも？皆さんの来室をお待ちしています。



キャリアアドバイザー・増田さん

三好 本日はお忙しい中お時間いただきありがとうございます。まず初めに、自己紹介をお願いします。
増田 就職係キャリアアドバイザーの増田と申します。一般的にはキャリアコンサルタントと呼ばれる職業で、皆さんの就職に関する相談を受けることを仕事にしています。
三好 キャリア面談ではどのような相談を受けることが多いですか。
増田 奈良女の学生さんは、就活だけというよりも、ライフデザイン全体の相談が大半ですね。仕事と家庭の両立や妊娠・出産などのライフイベントへの悩みを赤裸々にお話してくれる方が多いと感じます。あとは、「何をしたいかわからない」という情報面での

不安をお話してくれる方もいます。
三好 私も就活当初は謎の焦りや不安を感じていた記憶があります。このような漠然とした感情はどうして生まれてくるのでしょうか。
増田 ひとつの理由としては、「情報過多」があるかなと思います。表面的な情報が社会に多すぎることがゆえに、自分が本当に必要としているものにたどり着かないのかもしれない。奈良女だけに絞って考えると、個人の経験があまりタテヨコのつながりに反映されないということが挙げられます。学生数が少なく、互いを気遣うあまり就活の話題を避けてしまう。そうすると一人で孤立しているように感じてしまいます。これが、漠然とした不安や焦りの正体なのではないでしょうか。実際、イベントなどで

他のが活生と話せる場を設けてみると、皆さん本当に生き生きと話されています。盛り上がりすぎて時間が足りないなんてこともしばしば起きますよ(笑) 就活は本来チーム戦だと考えているので、それを実現できるようなイベントの開催などが出来ればいいなと考えています。
三好 奈良女で就活を行えるメリットとは何でしょうか。
増田 様々な先人の活躍を糧に就活を行えるところかなと思います。良い意味で現実感のある進路選択が出来るのではないかなと。また、女子大なので必ずOGが来ることもメリットです。入社後どのように活躍できそうかを必ず

学内で確認出来ますよね。それが恵まれている環境だと感じます。
三好 では最後に、現在奈良女で就活中の学生に対してエールをお願いします。
増田 就活は一人で取り組むものではありません！いろんな人としゃべりましょう。就活では自分で何回でもチャンスを作ることが出来ます。そのたびに準備をしてアプローチを変えられるということなので、安心して周りの人にもたくさん相談してください。家族や友人だけでなく、その仕事をしている「当事者」にも話を聞いて、働くイメージを掴むこともとても大切だと思います。とにかく、おしゃべりが肝心です。気が向いたらキャリアサポートルームにもぜひ来てくださいね。

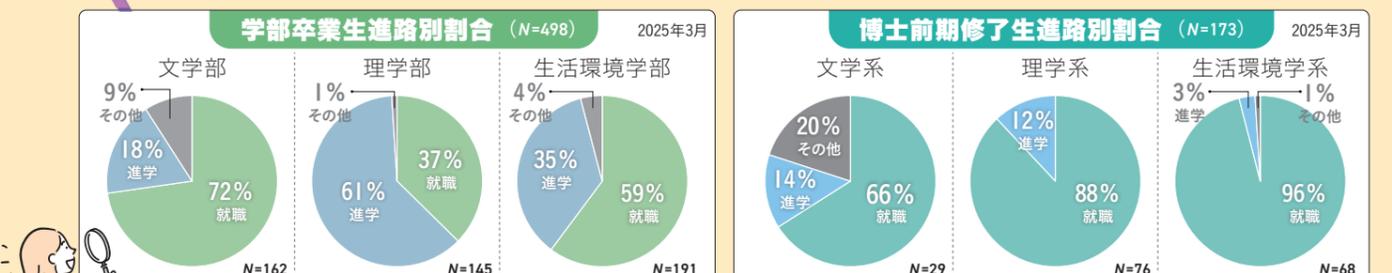


学生生活課就職係・中野さん
中野 まず、全国から入学してくださった学生の皆さんに、「奈良女に来て良かった」と心から思ってもらえるようにすることです。卒業時の、奈良女に来て良かった、就活イベントがきっかけとなって内定受諾することになった、というお声の仕事をするうえで原動力となっています。次に、日本全国約360万社といわれるあまたの企業の中から効率よく自分に合う企業を見つけられるように、業界・企業研究の場を積極的に提供しています。最近では、近年人気のコンサル業界・シンクタンク業界へのアプローチ

を強めたり、イベントへのOG登壇を積極的に企画したりしています。最後に、これが肝心なのですが、企業の人事担当者や強い信頼関係を築くことです。密にコミュニケーションを取ること、「あと1名」といったクローズド求人を通じていくことができ、それが学生の就職に繋がっています。
三好 様々な企画の中でも特に目玉となるようなイベントを教えてください。
中野 去年から始めた「キャリアカフェ」です。奈良女生採用意欲が高く、就職係公式LINEの就活サポート企業に参加いただき、ドリンク片手にカフェのような雰囲気の中で気軽に話せるイベントです。普段の企業説明会よりもはるかに近い距離でコミュニケーションが取れるのが魅力です。もう一点は「実践型キャリア教育プログラム」です。就職実績のある企業の協力を得て、担当教員の三方教授の監修のもと5daysインターンを実施しています。受講生からは「普通なら選考が難しい大企業のインターンを体験できた」「事前の企業

研究や振り返りをし、インターンシップ経験を最大限活用するようなプログラム」など高評価で、後輩へのおすすめ度は10点満点中9.7点でした。企業からも「事前の企業研究や目標設定など就業体験に取り組む意欲や積極的な姿勢」「礼儀正しくまじめに取り組む活躍できる人材で次年度もぜひ受け入れたい」と好評をいただき、来年度はさらに内容をブラッシュアップする予定です。
三好 では最後に、現在奈良女で就活中の学生に対してエールをお願いします。
中野 奈良女子大学の学生は、誠実さと探究心で高く評価されています。先輩方はメーカー、IT、インフラ、教育、公務、コンサルなど多彩な分野で活躍中です。皆さんも、自分の興味や強みを信じて、積極的にチャレンジしてください。奈良女で培った力は、必ず社会で輝きます！

進路 奈良女では色々な選択肢を比較しながら進路を考えることができます！



* 工学部は2022年に新設されたため、現時点では卒業生がおらず、進路データがありません。



小林 ランチミーティングなどのイベントは、就活生の要望に沿って、イベントを企画しています。夏に企画したランチミーティング*もその一つです。

江幡 うんうん。ランチミーティングは継続しつつ、11月からはグループ面接練習会を予定しています。

江幡 基本的には、就活生の要望に沿って、イベントを企画しています。夏に企画したランチミーティング*もその一つです。

小林 気軽に相談できる場があればいいですね。

みんな悩んでる… WEBテストの壁

三好 では、そういった企画イベントを通して、就活生から多く寄せられる相談は何ですか。

江幡 確かWEBテストの相談が多かったかな…。

小林 でもWEBテストって、回数重ねたらなぜか出来るようになるよね。私も最初驚くほどWEBテストで落とされちゃって。自分の脳みそを疑いながらもテストセンターに行くうちに選考に通るようになりました。

江幡 それ、すごく良いことだよ

CHECK!

もう一人で悩まない！

学生サポーター「アイシー」がくれる

就活のヒント



「昨年から活動を開始した学生キャリアサポーター団体「アイシー」のメンバーにお話を伺いました。「アイシー」は、つい最近まで就活をしてきた4回生の学生5名で活動しており、就活の悲喜こもも等を等身大で語ってくれるのが魅力です。今回は、リラックスした雰囲気の中、江幡さん(理学部)と小林さん(文学部)にインタビューをさせていただきました！

先輩が語る！「アイシー」ってどんな団体？

三好 本日はお忙しい中お時間いただきありがとうございます。

江幡 インタビューはあまり経験がないので緊張しますが、頑張ってください！

三好 ありがとうございます。ではまず、「アイシー」はどのような形で就活生の支援を行っていますか。

江幡 基本的には、就活生の要望に沿って、イベントを企画しています。夏に企画したランチミーティング*もその一つです。

ペントには就活の職員さんもいらつしやるので、学生以外の視点からアドバイスももらえるのも嬉しいポイント！私も、就活当時は色々なイベントに参加することで職員さんと仲良くなりました。

三好 私も、春頃の就活イベントで、職員さんに「今は就活どんな感じですか？」と声をかけてもらいました。そこから現在まで本当にたくさんの相談に乗ってもらっているの感謝しかないですね。

江幡 確かにWEBテストの相談が多かったかな…。

小林 でもWEBテストって、回数重ねたらなぜか出来るようになるよね。私も最初驚くほどWEBテストで落とされちゃって。自分の脳みそを疑いながらもテストセンターに行くうちに選考に通るようになりました。

江幡 それは、活動中は「寄り添う」っていうのを大事にしているよね。就活が終わった今だから伝えられることを、一人一人に寄り添いながらお話をすることを意識しています。

チーム奈良女として！先輩へ贈るエール

三好 では最後に、現在奈良女で就活中の学生に対してエールをお願いします。

江幡 はい。就活中は不安になることも多いと思いますが、焦らず、長い目で取り組んで大丈夫です。自分と向き合ういい機会でもあるので、じっくりと企業研究をしてみてください。きっと自分に合った進路が見つかるはずですよ。私たちは「チーム奈良女」として皆さんのことを応援しています。

小林 私も同じようなことですが、焦らず、長い目で取り組んで、皆さんの選択肢の中から、自分に合ったものをゆとり探していってください。困ったら、いつでも相談に来てください！

三好 ありがとうございます！

*お昼ご飯を食べながらリラックスして就活相談を出来るイベント



現役奈良女生が語る！

私たちのリアルな就活事情



「実際、就活ってしんどいものなの？」「奈良女での就活はどんな感じかな？」という疑問に、座談会形式で3名の奈良女生が答えてくれました！学部や学年がバラバラでしたが、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

三好 本日はお忙しい中お時間いただきありがとうございます。まずは簡単に自己紹介をお願いします。

金本 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース4回生の金本です。「日系の大手企業に入りたい」という気持ちで就活を進め、衣料品メーカーの商品開発部に内定をいただきました。とても緊張していますが、よろしくお祈りします。

楠 生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース4回生の楠です。私は、「温かい雰囲気のある会社で働きたい」という軸で就活を行いました。最終的にはIT業界の企業に内定をいただいたので、春からはエンジニアとして働く予定です。全くの未経験なので、これから勉強を頑張ろうと思います(笑)

清 文学部言語文化学科ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース3回生の清と申します。現在絶賛就活中ですが、夏インターンが終わって、就活熱も少し落ち着いてきています(笑)IT業界の上流に携わりたいという思いで企業を見ている。よろしくお祈りします。

不安？焦り？就活スタート時を振り返る

三好 早速質問です。就活当初、どんな気持ちだったか覚えていらっしゃいますか？

楠 「もう就活かよ〜。」っていう気持ちが一番大きかった(笑)でも、なんにもわからなさすぎて、むしろ不安とかはなかったかな。そのくらいの時期に大学就職関係の存在を知ったから、「なんでも聞きに行けばいいんだ！」って思って利用し始めた。

金本 就活当初、私は本当にやりたいことがなくて。「就活嫌やな〜。でもなんか始めないと〜。」って思ってた。周りの就活生がどんどん先に進んでたんだよね。そこで、「アイシー」の方のお話を聞きに行ったりしてみたんだけど…。

三好 やっぱ、同級生の友達と就活の話はしにくかったですか？

金本 うん、そんな雰囲気はあったなあ。軽く「就活しんどいな〜。」くらいは言うんだけど、なかなか選考状況とかは話さなかった。あと、奈良女の子は公務員志望も多いから、そもそも話が合わなかったり。

清 やっぱ、公務員志望の子は多いですよ。私は、焦りとかはそこまでなくて、何とかかなってという思いでとりあえずいろんな企業を見ていました。でも今考えると、あまりにも何も絞り切れてない状況はちょっと嫌だったかな…。

どうやって見つける？「自分だけの軸」の探し方

三好 先輩のお2人は、膨大な数の企業の中から、どうやって自分に合いそうな会社を見つけ

出したんですか？

楠 私は、会社の雰囲気自分が合うかを最重要視して、そのほかの条件をランク付けしていったよ。そうすることで、自分にとって何が本当に大事なかわかった気がする。

金本 私はさっきも言った通り、本当に自分が何をしたいのかわからなくて。ポロ泣きしながら「何がしたいかわからないです〜。」って増田さんに相談した記憶がある(笑)でも色々考えていくうちに、プライベートの時間とか企業の知名度が自分にとって大事なんだなって気づいたかな。あとは面接の時間を通して「本当に自分に合ってるのかな。」って考えた。

三好 面接でそんなに考えられる時間があるんですね。知らなかったです。

楠 選考って本当に「待つ」イメージがあるよね。結構しんどかったよ〜。

就活ブルーを乗り越える！しんどい時の対処法

三好 では、皆さん就活中のしんどい時はどうやって乗り越えていましたか？

楠 私は波がすごく大きかったな…。秋冬は本当に気持ちが沈んでたけど、最終4月1日の入社までに間に合えばいけるでしょ！みたいなテンションでいた気がする(笑)でも、周りの就活状況とかを聞くと、聞き直りながらも本当はすごくしんどかった。お母さんといろんな話をしながら、「停滞しても下がることはない！」って考えて、粘る姿勢を崩さないように頑張ってた。実際、最終的に決まったのはつい最近だし。

金本 私は逆に、あんまり誰にも口出しされたくないタイプだった(笑)だから、お父さんにだけ業務報告的にその時の状況を話した。ひとつ印象に残っているのは、増田さんに「あなたはポテンシャルは高いんだから。ここだけ直せばいいんだから。」って的確にアドバイスしてもらえたこと。すごくありがたかったなあ。

楠 増田さんのこと、時々エスパーかなって思うもんね。「どうしてそんなに私のことがわかるの！」って(笑)

清 めっちゃいろんなことを言語化してくれますよね。私の場合は、夏インターンに落ちちゃって、夏休みの計画も思ってたのと全然違うものになって、落ち込みました。でも、学生は就活だけじゃないって思って、色々フレッシュできる



遊びの予定を入れてたのが良かったかなと思います。

三好 確かに、学生の間には出来ないこともたくさんありますもんね。皆さんは、就活の話は誰かに言いたくなるタイプですか？それとも自分の中でとどめておくタイプですか？

楠 私は黙ってられないんだよね(笑)それこそ、母とか中高の同級生にぶわーって話しまくってた。清 私もそんなに詳しい話はないけど多少は話すタイプです。説明会に参加してみた企業の話とか…。

楠 わかる！逆に、「今日の面接、結構怖く感じたな…」って愚痴を言いたくなる時もある。そうやって疲れてしまった自分をどこかで発散しないとやっていけないんだよね。

金本 そうだよ。数が多いわけじゃないけど、そういう経験をしたとは言えないから、つらいときは一人で抱え込まない方がいいよね。

焦らなくても大丈夫！先輩へ贈るエール

三好 では最後に、4回生のお2人から現在奈良女で就活中の学生に対してエールをお願いします。

楠 全然偉そうなことは言えないんだけど…(笑)私自身、つい最近の10月末に内定をいただいたから、粘れば、今の時期まで頑張ることは出来るんだって伝えたいかな。あとは、「自分の欲に忠実になる！」っていうのも結構大事。誰しも、やりたいこととか、譲れないことって絶対あるじゃない。理想に近づけるんじゃないかなと私は思う。絶対に焦らなくていいからね！

金本 何だろうな…。感じたこととして、コケてる時期は進んでる実感が全然ないんだよ。足をわーって動かしてるつもりなのにミリも動いてないみたいな(笑)でも、企業を見に行ったり、就活の軸を発見したり、そうやって頑張ると確実に進んでる実感が湧いてくるんだよね。その実感を得るタイミングは人によって違うし、方法も色々だと思うから、色々なアプローチを試してほしいなって思ってる。一つのやり方にこだわらずに、どんどん自分から動いてみてほしいな。あとなんか言いたいことあったんだけど…。忘れちゃった(笑)

一同 (笑)

三好 ありがとうございます！当たり前ですが、人によって就活の形は様々だということを再認識できた1日でした。私も最後まで頑張りたいと思います！

学生記者の声



「就活」、この二文字にはなぜか重く、暗い印象が付きまといがちです。自分と向き合い、他人と比較し、自身の輪郭を掴もうとするたびに、嫌な部分ばかりに目が向いてしまい、気が滅入ってしまう—そのつらさは誰もが経験するものではないでしょうか。しかし、それを一人で抱え込む必要は全くありません。今回、取材活動を通じて再認識したのは、奈良女には学生の歩みの一歩先を照らし、等身大で寄り添ってくれる心強い存在が、すぐそばにあるということです。職員や先輩の温かいサポートを頼りながら、あなただけの未来を少しずつ考えてみませんか。

三好 芳佳(みよし ほのか) 文学部 言語文化学科3回生 出身校：兵庫県立御影高等学校(兵庫県)

万博で「次世代女性エンジニア」イベント開催!

大阪・関西万博のウーマンズパビリオン「WA」スペースで、奈良女子大学主催イベント「次世代女性エンジニア育成について考える」を開催しました。

教育関係者や企業の方、学生、一般来場者など約80名が参加。現場での取り組み紹介や国際的な視点からのディスカッションが行われ、「現場の取組がよく分かった」「国際的な視点から考えるきっかけになった」など、うれしい感想もたくさん寄せられました。

奈良女子大学では、これからも女性エンジニア育成に向けた教育・研究活動を積極的に展開し、社会への貢献を続けていきます。



久保博子教授 講演の様子



芝崎学教授 講演の様子

奈良女子大×万博2025 | 研究と教育の成果を発信

万博「いのちの未来」に参画! 高田学長がパビリオン訪問

奈良女子大学は、2025年大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「いのちの未来」に、共創プロジェクトの一員として参画しました。

本学はこれまで、大阪大学・石黒浩教授(ATR)と共同研究を進め、附属小学校でのロボット実験や、女子大生がデザインしたアンドロイド開発などに取り組んできました。こうした研究成果は、愛知万博や国立大学協会の情報誌などでも紹介されており、現在展示されているアンドロイドにもその技術が受け継がれています。

こうした経緯を背景に、奈良女子大学の高田将志学長が「いのちの未来」パビリオンを訪問しました。多彩な企業や研究者が協力して実現したこの展示では、「いのちとは何か」を問ひかけ、人とテクノロジーの共生を体感することができました。



高田将志学長らによる訪問の様子

広報誌「Today」広告掲載者募集中!

本学では、大学の最新情報や学生の活動などを紹介する広報誌「Today」において、企業・団体・地域のみならずからの広告掲載を募集しております。

広報誌「Today」は、本学学生・教職員・卒業生、さらには関係各所へ配布される媒体であり、多様な読者にリーチ可能です。

広告掲載を通じて、貴社・貴団体の情報発信やブランディングに是非ご活用ください!



詳しくはこちら!

Club/Circle #NWU

ソフトテニス部 メンバー数: 17人



活動内容

のんびりとソフトテニスを楽しむ部活です。毎年、春と秋には大会に参加しています。

♡お気に入り

#ソフトテニス #気軽に体を動かしたい!

◎ソフトテニス初心者でも参加できますか? もちろん参加できます! 現在所属している部員にも初心者はたくさんいます。スポーツ自体が全くの未経験という部員もいますが、みんなで仲良くソフトテニスを楽しんでいます!

◎入部してから一番印象に残っていることは? 多くの部員が楽しかった思い出として挙げるのは恋部祭の打ち上げです。喋って食べて喋って喋っての打ち上げは最高の思い出です! 今年も楽しみです。

◎どんな人におすすめですか? ソフトテニス部の魅力は自分のペースでテニスを楽しめることです。運動が苦手、でも何かスポーツをやってみよう! という人にはうってつけの部活だと思います。愉快的仲間が待っています!



活動をもっと知りたい方はこちら!

合気道部 メンバー数: 28人



活動内容

毎週火・木曜日に第二体育館で活動しています。合宿や他大学との合同稽古などたくさんの経験ができます。

♡お気に入り

#初心者大歓迎 #黒帯取れます #護身術学べます

◎合気道とは? 合気道とは相手の攻撃をかわして投げや抑える技をすることを通して、心身を鍛えるのを目的とした現代武道です。相手の力を制する技は、護身術の一種となります。

◎合気道部での思い出は? 春夏に実施される合宿です。普段とは異なる環境で新鮮な気持ちで稽古ができます。稽古だけでなく、観光の日もあるため、先輩や同期との仲を深めることもできます。

◎どんな人におすすめ? どなたでも大歓迎です! 部員のほとんどが初心者からのスタートのため、大学から新しいことをはじめてみたいという方や、護身術を学んでみたいという方にぴったりの部活動です。



活動をもっと知りたい方はこちら!

ならじょおひさま食堂 メンバー数: 56人



活動内容

毎月、地域食堂を開催しています。子ども食堂とは違い親子を中心に様々な世代の方に来ていただいています!

♡お気に入り

#地域の方と触れ合える #大量調理 #子どもと工作

◎ならじょおひさま食堂に入ったきっかけ(決めて)は何ですか? 子どもたちと触れ合えることや、食堂はもちろん、ミーティングや調理中の雰囲気も良く、色々な学部・学科のメンバーと関わることから入部してくれる人が多いです!

◎ズバリ! ならじょおひさま食堂の魅力について教えてください。学生のみで運営している食堂は全国的にも珍しく、自由なアイデアが実現でき、助成金申請や支援者・支援団体の方々との関わりなど、ボランティア団体の運営について学ぶこともできます!

◎どんな人におすすめ? 料理が好き! 工作が好き! 子どもや地域の方々と交流したい! ボランティア活動をしたい! という方はもちろん、経理や広報活動に興味がある方もぜひ私たちと一緒に活動しましょう!



活動をもっと知りたい方はこちら!

水泳部 メンバー数: 15人



活動内容

6~8月は奈良教育大学で週5日、10~5月は外部でプールを借りて週3日奈良教育大学と一緒に練習しています。

♡お気に入り

#奈教奈良女水泳部 #泳ぎたい #目指せ自己ベスト

◎練習は全日参加必須ですか? 奈良教育大学での練習に関して週5日と記載しましたが、この期間は放課後練習になるので授業や自分の予定と相談しつつ参加してもらって大丈夫です! 外部でプールを借りている期間は朝練なので、1限がない日の参加で大丈夫です。

◎どんな人におすすめですか? 小学校で水泳をやっている、その後泳いでなかったけどまた再開したい、ずっと水泳をやってきた、マネージャーの仕事に興味がある、といった方におすすめです。ぜひ一緒に楽しく泳ぎましょう!

◎水泳部の魅力とは? 水泳部は部活としては珍しく他大学と合同で練習をしています。そのため知り合う人の幅が増えたり、普段交わることのない仲間とともに切磋琢磨しながら自己ベストを目指すことで絆が生まれていったりと、水泳部にしかない魅力がたくさんあります!



活動をもっと知りたい方はこちら!

佐保会 各支部リレー便り 全国47都道府県で活動



福岡県支部 支部長 花村 茂美

(昭和62年(1987年)文学部教育学科体育学専攻卒業、平成元年(1989年)文学研究科体育学専攻修了)

福岡県は、北は玄界灘、南は脊振山地といった豊かな自然とともに都市機能も充実しており、食文化も豊かでとても住みやすい地域です。「令和」の元号発表以降、全国的に知られることとなった坂本八幡宮も福岡の太宰府にあります。

福岡県支部の会員は現在約230名、事務局役員は5名、主な活動は年1回の支部総会です。総会は、福岡市・北九州市のいずれかで実施し、美味しい食事をいただきながら旧交を温めたり、初めてお会いする方も打ち解けたり、楽しい時間を過ごしています。

新型コロナウイルス感染症による2年間の総会休止、その後の会食抜きの対面・オンライン総会を経て、ようやく令和6年から会食を伴う総会が実施できるようになりました。総会への出席者は例年20名弱ほど、令和7年は16名でした。

総会では、卓話という形でちょっとした講演を会員の方にいただいています(非会員の人にお話をいただいた年もあります)。過去約10年の卓話のタイトルを振り返ると、「食の激変と家庭科教育」「飯田高原便り」「仁川広域市女性団体訪問記」「シンクロ応援記～中国、スペイン」「陶彩画の世界」「看護の世界をのぞいてみましょう」「『国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術』の講演会を聴講して」「スコットランドの妖精」「身体的触れ合いと健康」など、会員の仕事や趣味に関わる内容で多岐にわたっています。平成30年には当時の奈良女子大学副学長・藤原素子先生に「奈良女子大学の今から未来へ」というテーマでお話いただき、懐かしい奈良女に思いを馳せる時間となりました。

令和7年の卓話は、堺 千寿子さん(文体・平成2年卒)による「福岡で生まれた筑前琵琶」でした。普段は中学校の先生をされていますが、仕事とは別に活動している筑前琵琶についての多岐にわたる話と「祇園精舎」「黒田節」の実演をしていただきました。また、琵琶を始めたきっかけは福岡県支部での出会いであったエピソードなども嬉しいものでした。今年の総会に参加された細川文代さん(文史・昭和34年卒)は、卒寿を目前に控えたご年齢を全く感じさせないお元気なご様子で、出版されたご自身の刺繍・刺し子・キルト・パッチワークの作品集をお持ちくださり、その繊細かつ鮮やかな作品に参加者は大変な感銘を受けました。

会員は仕事や趣味で多彩な世界を広げている方々がたくさんおられ、毎年、新鮮な刺激を受けています。また、同窓であることの気やすさゆえか、あるいは、青春時代を奈良で過ごしたことから似たような感性が培われるのか、初めてお会いする人であっても、とても楽しくお話しできる雰囲気があります。今後、新たな参加者にお越しいただくことをお待ちしております。



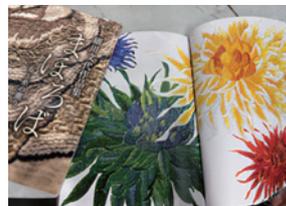
▲ 令和元年福岡県支部総会



▲ 令和7年福岡県支部総会



▲ 令和7年福岡県支部総会・筑前琵琶



▲ 細川文代さん作品集

奈良女子大学なでしこ基金

「なでしこ基金」へのご協力ありがとうございます！



皆様方によるなでしこ基金へのご理解のもと、2025年4月1日から9月30日までの間に、18,661,670円「古本(リサイクル)募金を含む」のご寄附を賜りました。心から、温かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。

「なでしこ基金」へのご寄附に際しましては、本学ホームページより、クレジットカード決済もご利用いただけます。また、「なでしこ基金」では、生前に遺言をして遺贈する旨を明らかにするため、「遺贈寄附」を実施し、3銀行(南都銀行、三井住友銀

行、三菱UFJ信託銀行)と協定を結んでいます。

近年の物価・光熱水費・人件費の急激な高騰を受け、本学の財務状況は危機的状況であり、現在、学長が先頭に立って財務状況の改善と機能的・機動的な組織運営に取り組んでいるところです。

本学が引き続き、優秀な女性人材の輩出と社会への貢献の役割を果たし、女子高等教育の拠点として輝き続けられるよう、引き続き、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

奈良市へのふるさと納税による寄附を活用した奈良女子大学への支援制度も始まりました！

なでしこ基金
HPはこちら



ふるさと納税
詳細はこちら



編集・発行 / 奈良女子大学広報企画室 星野聡子、永廣秀子、小川伸彦、吉岡英生、水原啓暁、芝崎学
編集責任者 / 室長 星野聡子

連絡先 / 奈良女子大学総務課 〒630-8506 奈良市北魚屋東町

Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205 E-mail somu02@jimu.nara-wu.ac.jp

「ならじよToday」へのご意見・ご感想を是非お聞かせください。より良い誌面作成のため皆様のご叱咤激励をお待ちしています。(編集部)

■バックナンバーはHPをご覧ください。▶ <https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/today/index.html>

公式X



公式
Instagram

